

※発表賞候補対象者の印付けは今後行います(確認作業中のため)。
 ※発表者欄表記(報告者の印、所属の表記方法など)の精査・整理は今後行います。
 ※各セッションの座長については調整終了後に掲載します。

1本あたり報告時間について

- ・研究報告30分(報告:15分、質疑応答:12分、交代:3分)
- ・ワークショップ企画90分

【1日目(9月4日)】10:00~11:30 セッション I

教室	D-201	D-202	D-203	E-203	E-204	E-205
セッション	セッション I-1	セッション I-2	セッション I-3	セッション I-4	セッション I-5	
テーマ	環境	経済	地方議会	防災 I	観光 I	
座長	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	
	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	
10:00~10:30		ベンチャーキャピタルの東京一極集中はどのように形成されたのかー日本におけるVCクラスター形成メカニズムの実証分析ー 寺山 椋(日本大学大学院)	地方自治体における意見書の議決とその横展開の要因ーSituating Attention の視角からの分析ー 藤井 優多(一橋大学大学院)	フィジー共和国における広域防災システム整備計画にみる要請型とオファー型援助事業の類似事業の比較 小串 博史(長崎県立大学大学院博士後期課程)	宿泊税における定率制や税額引き上げの動きー公平、中立、簡素の観点からの分析ー 甘長青(九州共立大学)	
10:30~11:00	基礎自治体を対象とした生物多様性施策の自走化条件に関する質問紙調査 福田 愛紗(立教大学大学院)	離島部の小規模集落における食料アクセス方法の検討ー対馬・鰐浦区購買部の運営記録の分析からー 青木 天翔(大和大学)	政治活動用立て看板の設置行動分析ー東京特別区の区議会議員選挙における制限付き最適化の検証 坂本 東生(青山学院大学大学院博士後期課程)	防災行動意図は防災行動につながるかー岡山地域における長期パネルデータによる実証的検討ー 神田 将志(岡山理科大学)	にぎわいはなぜ生まれたのか?ー岡山県矢掛町まちづくり史の分析ー 岩淵 泰(岡山大学)	
11:00~11:30	みどりの保全についての市町村計画と各アクターの役割の変遷ー東京都多摩市におけるみどりの基本計画を対象にー 渡部 友賀(一橋大学大学院)	低所得者の利便性を高める税制構築に関する検討 谷川 喜美江(千葉商科大学)	市町村連携の阻害要因に関する計量分析ー市町村議員を対象にしたアンケート調査からの検証ー 鷺見 英司*(日本大学)、宮下 量久(東洋大学)	熊本地震がもたらした制度の変化と課題 北村 知史(関西外国語大学)	ガバナンスの観点から見た住民と移住者の関係構築に向けた行政の役割ー北海道東川町を事例に 森重 昌之(阪南大学)	

【1日目(9月4日)】15:45~17:45 セッションII

教室	D-201	D-202	D-203	E-203	E-204	E-205
セッション	セッションII-1	セッションII-2	セッションII-3	セッションII-4	セッションII-5	セッションII-6
テーマ	農業	共生社会	交通	観光2	人材	ワークショップI
座長	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	
	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	
15:45~16:15	<p>コメがつかなく持続可能な社会基盤—官民連携による食文化・環境施策の再構築—</p> <p>異俊樹*(大和大学)、立花晃(大和大学)、天野健作(大和大学)、清水麻弘(大和大学)、田中悠衣(大和大学)</p>	<p>外国人労働者の受入れから定着へ—地方公共団体の多文化共生施策と企業支援の現状分析—</p> <p>尾中政憲*(追手門学院大学大学院)、藤原直樹(追手門学院大学)</p>	<p>徳島市多家良地区におけるコミュニティバス運行計画の立案と試験運行</p> <p>山城新吾(徳島文理大学)</p>	<p>地域観光の担い手拡大に向けた未関与層の意識調査—観光への関心と参加意向に関するアンケート調査から</p> <p>大津知士(宮城大学)、中沢峻(宮城大学)、佐々木秀之(宮城大学)</p>	<p>国内外の住民自治組織における住民教育システムを踏まえた地域公共人材育成モデルの再構築</p> <p>楊豊(福岡大学大学院)</p>	<p>地域遺産としての災害の記憶と観光, ガバナンスの在り方について</p> <p>*森朋也(山口大学), *萩田雅弘(中央大学), 金承華(九州産業大学), Mega M.Cahyanti (Associate Professor Yamaguchi University)</p>
16:15~16:45	<p>都市農業振興計画における「振興」の意味と地域特性の実現</p> <p>菊池隆聖(一橋大学大学院)</p>	<p>在日外国人における防災とエスニック・コミュニティ</p> <p>太田智之(日本経済大学)</p>	<p>人ロデータとバス乗降調査データを活用したバス路線課題把握手法に関する研究</p> <p>森谷健太*(宮城大学大学院事業構想学研究科D3)、高橋信人(宮城大学大学院事業構想学研究科)、徳永幸之(宮城大学大学院事業構想学研究科)、蒔苗耕司(宮城大学大学院事業構想学研究科)</p>	<p>店舗のブランド化による観光客の回遊促進の可能性</p> <p>ユウイホウ(福岡大学大学院)、森田泰暢(福岡大学)</p>	<p>非定住型ステークホルダーを地域振興の担い手として制度化する計画行政モデル—「大刀洗町パートナー企業」制度による人材共創まちづくり計画を事例に—</p> <p>山田貴裕*(大刀洗町/慶應義塾大学SFC研究所)、藪内真由(大刀洗町/慶應義塾大学SFC研究所)、玉村雅敏(慶應義塾大学総合政策学部)</p>	
16:45~17:15	<p>市場メカニズムと相反した土地利用の成立条件に関する分析—都市内部で新たに創出された農地に着目して—</p> <p>長縄海広*((一財)土地総合研究所)、寺山椋*(日本大学大学院DI)、菊池隆聖*(一橋大学大学院DI)</p>	<p>外国人留学生の地域活動に対する参加動機と交流を通じた意識変化</p> <p>秋山千恵*(宮城大学大学院M2)、中沢峻(宮城大学)、佐々木秀之(宮城大学)</p>	<p>交通政策における「移動」概念に関する研究~政府報告資料を対象とした分析~</p> <p>名嘉真千景(一橋大学大学院)</p>	<p>過疎地域における「生存戦略」としての観光計画論-国の観光政策の「ミスマッチ」と自治体行政計画の再構築-</p> <p>金見翔太(徳島文理大学大学院)</p>	<p>正課外PBL経験の長期的効果に関する予備的分析:W大学卒業生への調査に基づく中間報告</p> <p>黒木宏一*(九州産業大学)、佐賀孝博(育英館大学)</p>	
17:15~17:45	<p>「災害時の安心感を高める連携拠点としての都市近郊農村の研究—稲敷市の有機米農家を中心に—」</p> <p>餅田 宏喜*(一般社団法人 東北ソーシャルデザイン研究所)、鈴木 佳文(一般社団法人 東北ソーシャルデザイン研究所)、風見正三(宮城大学参与・名誉教授)</p>	<p>ビジネスケアラーに関する計画行政—宮津市における調査を通して—</p> <p>川島典子(福知山公立大学)</p>		<p>自治体による食文化資源を活用した地域ブランド政策の展開—喜多方市と南陽市のラーメン課を事例として—</p> <p>永井琉太*(大和大学)、立花晃(大和大学)</p>	<p>日本の市におけるデジタル人材の採用や育成にかかわる方針や計画の策定状況</p> <p>本田正美(関東学院大学)</p>	

【2日目(9月5日)】09:30~11:30 セッションⅢ

教室	D-201	D-202	D-203	E-203	E-204	E-205
セッション	セッションⅢ-1	セッションⅢ-2	セッションⅢ-3	セッションⅢ-4	セッションⅢ-5	セッションⅢ-6
テーマ	子ども	合意形成	EBPM,DX	防災2	都市計画I	ワークショップ2
座長	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)
	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)
09:30~10:00	地域住民による非専門的な子ども・子育て支援としての〈見守り〉に関する考察—「朝のこどもの居場所づくり事業」に着目して— 毛塚泰樹(一橋大学大学院)	ワークショップにおけるファシリテーションを支援するICTツールの適用可能性に関する検証 ~TACHI-NO-VOICEを事例に~ 菅原菜唯*(宮城大学大学院 事業構想学研究所 博士前期課程 2026年3月修了)、中沢峻(宮城大学)、佐々木秀之(宮城大学)	自治体における施策・計画立案段階での方法・研究手段のスコーピングレビュー 森本大貴*(芝浦工業大学)、市川学(芝浦工業大学)、藤田楓(芝浦工業大学)、坂東凜音(芝浦工業大学M1)、鉦建温人(芝浦工業大学B4)	地域住民の協働を促す政策要件としての地区防災計画に関する考察 坂本紫音(立命館大学大学院博士前期課程)*、井ノ口宗成(立命館大学)、徳丸宜穂(関西大学)	地方政令指定都市を発地とした地方間テレワーク移住の要因に関する考察—コロナ禍からコロナ後における山口市を事例として— 山本悟(山口大学大学院 博士後期課程)	災害に備えて~熊本地震を踏まえて~ 坂元洋一郎(長崎県立大学)、芳賀普隆*(長崎県立大学)、松下愛(長崎県立大学)、鷹巣心音(させば防災ネットワーク)、渋谷香奈(させば防災ネットワーク)、直木隆一郎(させば防災ネットワーク)
10:00~10:30	義務教育学校が学力等に与える影響—自治体データを用いた定量分析 石村知子(豊中市)	ワークショップにおけるファシリテーターの葛藤と実践知 ~まちづくり・災害復興の現場におけるインタビュー分析~ 佐藤充*(宮城大学大学院M2)、中沢峻(宮城大学)、佐々木秀之(宮城大学)	「デジタル化の進展は生活満足度を高めるか:地域幸福度指標を用いた実証分析」 丹羽里美*(名古屋市立大学大学院M2)、原田峻平(名古屋市立大学)	災害時の自治体間支援における経験知の活用可能性—令和6年能登半島地震での対応を事例として 高木超(北九州市立大学)	なぜ豊橋市においてアリーナの建設をめぐる住民投票が行われたのか? 小杉亮太*(一橋大学大学院D2)、高橋大輔(東三河地域研究センター)、奥田健(東三河地域研究センター)	
10:30~11:00	基礎自治体における子ども関連データを活用した調査研究プロジェクトの成果と課題 比嘉康則(豊中市)	社会的合意の形成におけるスコーピングレビュー 林紘大*(芝浦工業大学大学院M2)、瀬川千尋(芝浦工業大学大学院M1)、鉦建温人(芝浦工業大学B4)、藤田楓(芝浦工業大学研究員)、市川学(芝浦工業大学)	EBPMにおける分析過程の管理に関する一考察—内製分析と説明責任の観点から— 田原英典(筑波大学大学院科目履修生)	東日本大震災の記憶の持続可能な伝承に関する考察 柳津英敬(東北大学)	吹田市の公共施設における空間配分の最適化に関する研究~男性の小便器利用の行動規範と女性トイレ混雑に着目して~ 永利颯志(大和大学)*、立花晃(大和大学)	
11:00~11:30		高レベル放射性廃棄物処分場選定における地域規範と手続きの公正—北陸地域における「和」の尊重と合意形成に向けた住民参加— 斎藤英明(北陸大学)	AI音声調査システムによる疑似面接調査手法の実用可能性に関する実証 朴堯星(統計数理研究所)*、前田忠彦(統計数理研究所)、持橋大地(統計数理研究所)	災害後のコミュニティに対する人的支援施策の比較分析~総務省・復興支援員制度を中心として~ 中沢峻(宮城大学)		

【2日目(9月5日)】15:50~17:20 セッションIV

教室	D-201	D-202	D-203	E-203	E-204	E-205
セッション	セッションIV-1	セッションIV-2	セッションIV-3	セッションIV-4	セッションIV-5	セッションIV-6
テーマ	市民生活	産業	計画論	防災3	都市計画2	ワークショップ3
座長	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)
	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)	(未定)
15:50~16:20	「幸せを実感するとき」からウェルビーイングを考えるー市民へのインタビュー調査を通じて	陶磁器産地の持続可能性に関する比較考察ー原料枯渇時代における継承モデルの分析からー	社会変容時代における自治体総合計画の再定義ーレジリエントな地域社会形成に向けてー	緊急輸送道路の道路啓開を目的とした沿道空き家除却の最適化	人口減少下における成長型郊外住宅開発からの戦略的撤退	熊本県御船町震災復興計画と地域コミュニティとの連携~ありがとう行政と恩繋防災~ ファシリテーター 竹川克幸(日本経済大学)、藤木正幸(御船町長)、藤木せら(御船町・藤木屋)、姜来秀(日本経済大学・榊QuickConnect)
	平田誠一郎(豊中市)	立花晃(大和大学)	畑正夫(神戸国際大学)	佐藤佳乃(日本郵便株式会社)、石井儀光(国土総合研究所)、大澤義明*(麗澤大学)	植村哲士(文京学院大学)	
16:20~16:50	滋賀県沖島における生活基盤支援モデルの提案ーウェルビーイングとコミュニティの持続可能性の両立ー	日本の旧石炭産出地域の現状と課題ー産炭地域振興政策終了後20年の経過を踏まえてー	総合政策学の再定位と計画行政ー学際的研究推進の困難さー	2025年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波警報時の避難経路集中ー石巻市渡波・万石浦地域における来訪者数変化の分析ー	人口減少・超少子高齢化時代の都市政策とコンパクトシティ:理念と制度の不整合に関する考察	
	福田美紀(びわこ学院大学)*、立花晃(大和大学)、天野健作(大和大学)、得能弘一(大和大学)	岩本直(周南公立大学)	松村豊大(徳島文理大学)	小松真治(石巻専修大学)	藤岡裕大(京都先端科学大学)	
16:50~17:20	若年層の出生意識は政策情報によって変化するのか:福岡市の出産・子育て支援情報を用いた事前・事後分析	商店街の防災対応に関する事例研究~東洋史観の枠組みによる支援施策への考察~	制度を超えて公共交通を論じる:行政学者による教科書執筆の実験	マルチエージェントシステムによる災害廃棄物の仮置場立地に関する検討	市町村による都市計画決定情報GISオープンデータの取り組み状況とその背景要因	
	柳永珍(福岡大学)	鈴木佳文*(一般社団法人東北ソーシャルデザイン研究所)、餅田宏喜(一般社団法人東北ソーシャルデザイン研究所)、風見正三(宮城大学参与・名誉教授)	村上裕一(北海道大学)	小野聡*(千葉商科大学)、多島良(国立環境研究所)	白川慧一(敬愛大学)	